

試験結果報告書表紙

・・・・・・・・・・・・・・・・ 疲労ストレス測定試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・

令和4年7月19日

株式会社 ハッピートーク殿

健康コントロール研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No. R4-7-19-001

本件に付きましてお問い合わせは下記にご連絡ください

健康コントロール研究会 寺岡文雄
636-0105 奈良県生駒郡斑鳩町東福寺 1-5-31
Tel&Fax : 0745-74-5590
携帯電話 : 090-7352-2890
E-mail : teraokaf@m5.kcn.ne.jp

試験結果報告書

No. R4-07-19-001
令和4年7月19日

健康コントロール研究会
奈良県生駒郡斑鳩町東福寺 1-5-31

<試験項目1 疲労ストレス測定 - rela.cure 乳液>

供試試料 rela.cure 乳液

精製水使用乳液 (コントロール)

測定条件 ①測定日時 令和4年6月17日～6月19日

②温湿度 25.1～25.5℃ 57～61%

③測定機器 株式会社村田製作所製 疲労ストレス計 MF-100

④被検者 48歳女性

測定方法 測定の仕方(装置の握り方や測定時の姿勢等)はメーカーの取扱説明書に従って行った。測定前5分間の安静後、椅子に座り目を閉じた状態で疲労ストレス度を測定した。疲労ストレス度を測定した。測定時間は2分間であった。

精製水使用乳液(コントロール)は朝洗顔後、顔全体に塗布し1時間後に疲労ストレス度を測定した。翌朝洗顔後、rela.cure乳液を顔全体に塗布前後および1時間後に疲労ストレス度を測定した。

なお、図説後の「 」内は疲労ストレス結果の見方(図13)の評価を示している。

結 果

図1は乳液(コントロール)塗布前、図2は乳液塗布直後、図3は乳液塗布1時間後の疲労ストレス結果を示す。表1に乳液(コントロール)の疲労ストレス測定数値を示す。

表のバランス、偏差値および総拍数は本報告書

最終ページの<疲労ストレス測定値の見方>で説明しています。

ストレス度(自律神経の交感神経と副交感神経)は人により異なり、また時間帯や環境にも大きく左右されます。本実験では、ストレスが安定した状態では効果が判断できないため、「健全」な状態から外れた状態を確認してから疲労ストレス度を測定した。

あなたの疲労の総合判定



交感神経系/副交感神経系のバランスはうまく保たれていますが、自律神経機能活動が少し低下しています。仕事や勉強をするときに活動モードに切り替えることができない場合は、起床時には体操や熱めのシャワーを浴びるなど交感神経系の活動を高めるようにしましょう。また、夕方以降はヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高める取り組みを取り入れ、一日の規則正しいリズムを作られることをお勧めします。

あなたの疲労の総合判定



交感神経系/副交感神経系のバランスが崩れて交感神経系の軽度過緊張がみられますが、自律神経機能活動は正常です。軽度のストレス時にみられる変化ですので、時間をおいて再検査をされることをお勧めします。安静にしているてもこのような状態が続くようでしたら、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラックス法を取り入れられることをお勧めいたします。

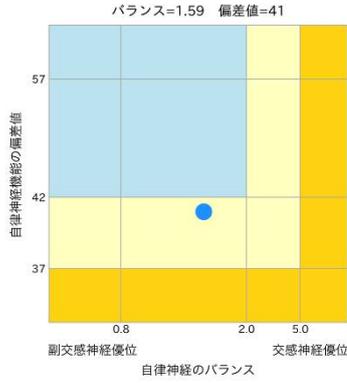


図 1. 乳液塗布前 「眠い・だるい」

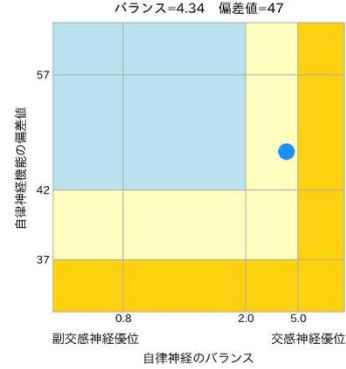


図 2. 乳液塗布直後 「やる気」

あなたの疲労の総合判定



交感神経系/副交感神経系のバランスはリラックス状態にあります。自律神経機能活動が少し低下しています。仕事や勉強をするときに活動モードに切り替えることができない場合は、起床時には体操や熱めのシャワーを浴びるなど交感神経系の活動を高めるようにしましょう。また、夕方以降はヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高める取り組みを取り入れ、一日の規則正しいリズムを作られることをお勧めします。

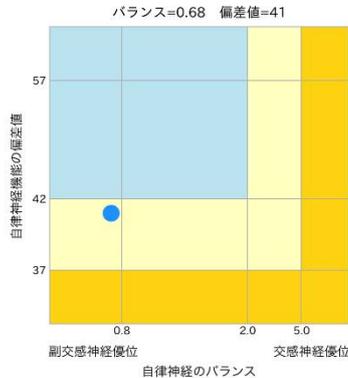


図 3. 乳液塗布 1 時間後 「眠い・だるい」

表 1 乳液 (コントロール) 塗布の疲労ストレス測定値

| | 塗布前 | 塗布直後 | 塗布 1 時間後 |
|--------|------|------|----------|
| バランス* | 1.59 | 4.34 | 0.68 |
| 偏差値** | 41 | 47 | 41 |
| 総拍数*** | 155 | 168 | 160 |

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

図4は rela.cure 乳液塗布前、図5は rela.cure 乳液塗布直後、図6は rela.cure 乳液塗布1時間後の疲労ストレス結果を示す。表2に rela.cure 乳液塗布の疲労ストレス測定数値を示す。

あなたの疲労の総合判定



注意

交感神経系/副交感神経系のバランスはリラックス状態にありますが、自律神経機能活動が少し低下しています。仕事や勉強をするときに活動モードに切り替えることができない場合は、起床時には体操や熱めのシャワーを浴びるなど交感神経系の活動を高めるようにしましょう。また、夕方以降はヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高める取り組みを取り入れ、一日の規則正しいリズムを作られることをお勧めします。

あなたの疲労の総合判定



良好

交感神経系/副交感神経系のバランスはリラックス状態にあり、自律神経機能活動も正常です。睡眠や休息をとるのに適した状態ですが、時に仕事や勉強をするときに活動モードに切り替えることができない場合がありますので、抑うつ、意欲の低下などがみられるようでしたら、再検査をお勧めします。

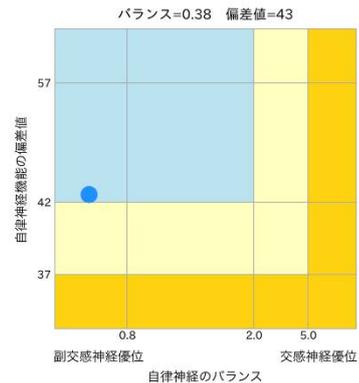
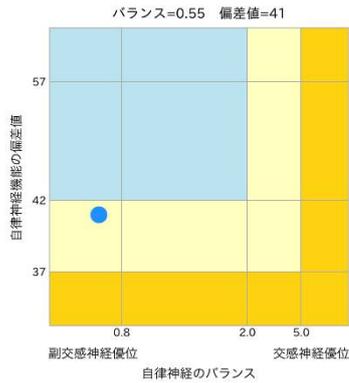


図4. rela.cure 乳液塗布前 「眠い・だるい」

図5. rela.cure 乳液塗布 「健全」

あなたの疲労の総合判定



良好

交感神経系/副交感神経系のバランスはリラックス状態にあり、自律神経機能活動も正常です。睡眠や休息をとるのに適した状態ですが、時に仕事や勉強をするときに活動モードに切り替えることができない場合がありますので、抑うつ、意欲の低下などがみられるようでしたら、再検査をお勧めします。

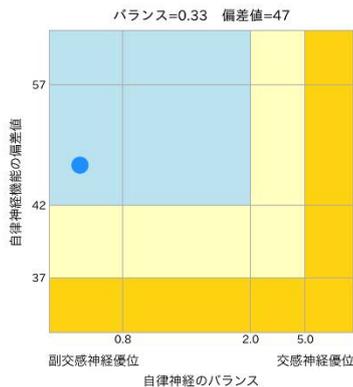


図6. rela.cure 乳液塗布1時間後 「健全」

表 2 rela.cure 乳液塗布の疲労ストレス測定値

| | 塗布前 | 塗布直後 | 塗布 1 時間後 |
|--------|------|------|----------|
| バランス* | 0.55 | 0.38 | 0.33 |
| 偏差値** | 41 | 43 | 47 |
| 総拍数*** | 146 | 149 | 158 |

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

《rela.cure 乳液のまとめ》

乳液（コントロール）を塗布した場合には塗布後 1 時間経っても「眠い・だるい」状態であった。しかし、rela.cure 乳液を塗布した場合には直後でも「健全」状態になり、rela.cure 乳液の効果が見られた。

<試験項目 2 疲労ストレス測定 - rela.cure 美容液>

供試試料 rela.cure 美容液

精製水使用美容液（コントロール）

測定条件 ①測定日時 令和4年6月21日～6月22日

②温湿度 25.3～25.6℃ 57～61%

③測定機器 株式会社村田製作所製 疲労ストレス計 MF-100

④被検者 48歳女性

測定方法 測定の仕方（装置の握り方や測定時の姿勢等）はメーカーの取扱説明書に従って行った。測定前5分間の安静後、椅子に座り目を閉じた状態で疲労ストレス度を測定した。疲労ストレス度を測定した。測定時間は2分間であった。

精製水使用美容液（コントロール）は朝洗顔後、顔全体に塗布し1時間後に疲労ストレス度を測定した。翌朝洗顔後、rela.cure 美容液を顔全体に塗布前後および1時間後に疲労ストレス度を測定した。

なお、図説後の「」内は疲労ストレス結果の見方（図13）の評価を示している。

結果

図7は美容液（コントロール）塗布前、図8は美容液塗布、図9は美容液塗布1時間後の疲労ストレス結果を示す。



交感神経系と副交感神経系のバランスが大きく崩れて交感神経系の過緊張がみられます。自律神経活動は正常範囲ですが、心身のストレス状況下においてみられる変化の1つですので、時間をおいて再検査をお勧めします。このような状態が続くようでしたら、体調不良の原因となりますので、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラクゼーション法を取り入れられるようにしましょう。なお、このような状況が続いている場合は、不眠や中途覚醒などの睡眠障害に結びつくこともありますので、注意が必要です。



交感神経系と副交感神経系のバランスが崩れて交感神経系の軽度過緊張がみられ、自律神経機能活動も亢進しています。心身のストレス状況下においてみられる変化ですので、時間をおいて再検査をされることをお勧めします。安静にしているにもかかわらずこのような状態が続くようでしたら、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラクゼーション法を取り入れられることをお勧めいたします。

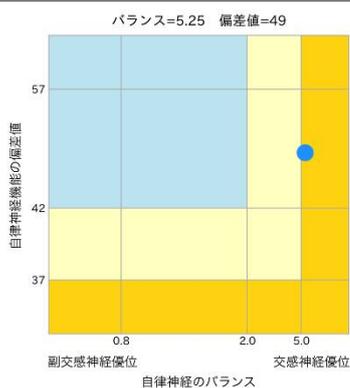


図7. 美容液塗布前 「やる気」

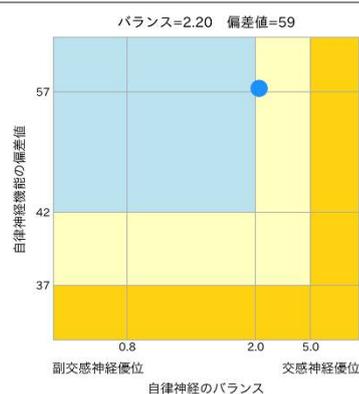


図8. 美容液塗布直後 「やる気」



交感神経系と副交感神経系のバランスが崩れて交感神経系の軽度過緊張がみられますが、自律神経機能活動は正常です。軽度のストレス時にみられる変化ですので、時間をおいて再検査をされることをお勧めします。安静にしているにもかかわらずこのような状態が続くようでしたら、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラクセス法を取り入れられることをお勧めいたします。

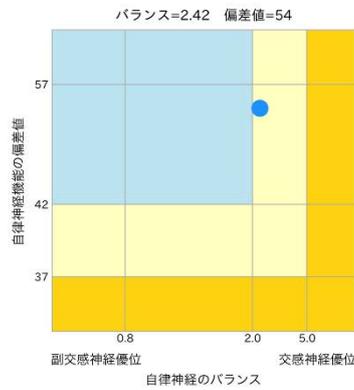


図 9. 美容液塗布 1 時間後 「やる気」

表 3 美容液（コントロール）塗布の疲労ストレス測定値

| | 塗布前 | 塗布直後 | 塗布 1 時間後 |
|--------|------|------|----------|
| バランス* | 5.25 | 2.20 | 2.42 |
| 偏差値** | 49 | 59 | 54 |
| 総拍数*** | 156 | 160 | 159 |

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

図 10 は rela.cure 美容液塗布前、図 11 は rela.cure 美容液塗布、図 12 は rela.cure 美容液塗布 1 時間後の疲労ストレス結果を示す。

あなたの疲労の総合判定



注意

交感神経系と副交感神経系のバランスが崩れて交感神経系の軽度過緊張がみられますが、自律神経機能活動は正常です。軽度のストレス時にみられる変化ですので、時間をおいて再検査をされることをお勧めします。安静にしているにもかかわらずこのような状態が続くようでしたら、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラクゼーション法を取り入れられることをお勧めいたします。

あなたの疲労の総合判定



注意

交感神経系と副交感神経系のバランスが崩れて交感神経系の軽度過緊張がみられますが、自律神経機能活動は正常です。軽度のストレス時にみられる変化ですので、時間をおいて再検査をされることをお勧めします。安静にしているにもかかわらずこのような状態が続くようでしたら、ヨガ、呼吸法、音楽、アロマなどの副交感神経活動を高めるリラクゼーション法を取り入れられることをお勧めいたします。

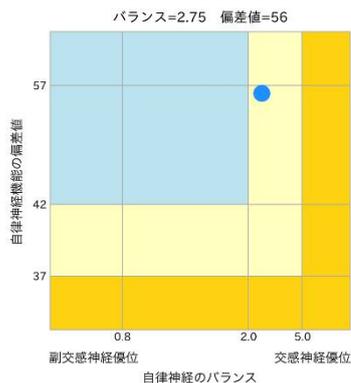


図 10. rela.cure 美容液塗布前 「やる気」



図 11. rela.cure 美容液塗布 「やる気」

あなたの疲労の総合判定



良好

交感神経系 / 副交感神経系のバランスはうまく保たれており、自律神経機能活動も正常です。自律神経機能は極めて良好な状態です。この状態を維持するように心がけましょう！

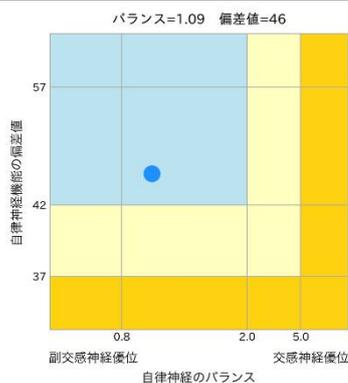


図 12. rela.cure 美容液塗布 1 時間後 「健全」

表 4 rela.cure 美容液塗布の疲労ストレス測定値

| | 塗布前 | 塗布直後 | 塗布 1 時間後 |
|--------|------|------|----------|
| バランス* | 2.75 | 2.10 | 1.09 |
| 偏差値** | 56 | 47 | 46 |
| 総拍数*** | 150 | 149 | 152 |

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

《rela.cure 美容液塗布のまとめ》

美容液（コントロール）を塗布した場合には塗布前、塗布直後および塗布 1 時間後共に「やる気」の状態に変化はほとんど見られなかった。しかし、rela.cure 美容液塗布した場合には「健全」まで回復し、rela.cure 美容液の効果が見られた。

＜疲労ストレス測定結果の見方＞（メーカー説明書からの引用）

バランス*；副交感神経と交感神経のバランスで、2.0 より小さいと副交感神経優位（リラックス）で、2.0 より大きいと交感神経優位（緊張）にある。

偏差値**；自律神経機能（働き度合い）を示す。歳を取ると自律神経の働きは低下する。そのため年齢相応を偏差値 50 として 42 を正常範囲としている。

総拍数***；測定時間内の心拍数

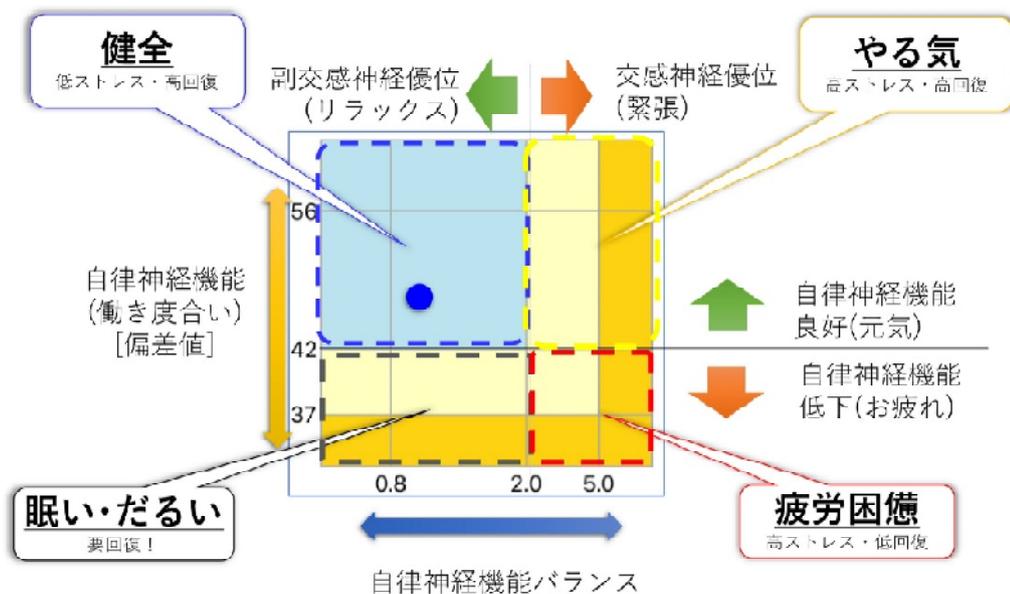


図 13. 疲労ストレス測定結果の